

伯耆町地域福祉推進プランの取組状況の概要

資料1

基本目標と主要な施策	R5年度の実施状況						R6年度の実施見込み					
	取組数	完了	実施	検討	未実施	中止	取組数	完了	実施	検討	未実施	中止
基本目標1 安心して暮らせる仕組みづくり	52	0	52	0	0	0	52	0	52	0	0	0
(1)総合的な相談体制の充実	12	0	12	0	0	0	12	0	12	0	0	0
(2)情報発信・情報共有の充実	7	0	7	0	0	0	7	0	7	0	0	0
(3)福祉サービスの充実	11	0	11	0	0	0	11	0	11	0	0	0
(4)権利擁護の推進	11	0	11	0	0	0	11	0	11	0	0	0
(5)配慮が必要な人への支援	11	0	11	0	0	0	11	0	11	0	0	0
基本目標2 支え合いの地域づくり	47	1	44	1	1	0	47	1	46	0	0	0
(1)地域福祉意識の高揚	7	0	7	0	0	0	7	0	7	0	0	0
(2)福祉ボランティア活動の推進	8	0	8	0	0	0	8	0	8	0	0	0
(3)小地域福祉ネットワーク活動の推進	10	1	9	0	0	0	10	1	9	0	0	0
(4)福祉活動への支援	7	0	6	1	0	0	7	0	7	0	0	0
(5)社会福祉協議会との連携強化	4	0	4	0	0	0	4	0	4	0	0	0
(6)災害時の防災体制の充実	11	0	10	0	1	0	11	0	11	0	0	0
基本目標3 いきいきと暮らせる環境づくり	20	0	18	2	0	0	20	0	20	0	0	0
(1)地域における交流活動の充実	11	0	10	1	0	0	11	0	11	0	0	0
(2)社会参加・生きがいのづくりの推進	4	0	4	0	0	0	4	0	4	0	0	0
(3)外出しやすい環境の整備	5	0	4	1	0	0	5	0	5	0	0	0
合計	119	1	114	3	1	0	119	1	118	0	0	0
		1%	96%	3%	1%	0%		1%	99%	0%	0%	0%

伯耆町地域推進プランは、基本理念を『住民主役の誰もが安心して暮らせるまちづくり』として、本町の地域福祉の方向性として設定する「地域共生社会の実現」を目指し令和4年度から令和8年度までを計画期間として取り組んでいます。

このプランは上のように3つの「基本目標」と、この達成のために取り組む14項目の「主要な施策」があり、これらを具体的に実施するため各所管が行う取組み内容があります。

取組み内容の内、「実施」状態にあるものは令和5年度末は119件中の114件(97%)となりました。一方、「検討」「未実施」となっている取組み内容は令和5年度は「検討」3件、「未実施」1件となっています。詳細は次ページに記載しています。

また、令和5年度から表示されている「完了」1件は介護支援ボランティア関係の所管が健康対策課から社会福祉協議会に移り、課としての取組みが終わったためのものです。令和6年度以降の今後の取組みで「未実施」「検討」はなくなることが見込まれています。

「検討」「未実施」の取り組み内容

取組み事項	所管		令和5年度の取り組み内容		今後の取り組み方針
基本目標2 支え合いの地域づくり					
主要な施策(2)福祉ボランティア活動の推進					
継続的な取り組みへの支援	社会福祉協議会	実施	ボランティア養成講座実施。(年1回)	実施	分野別ボランティア養成講座の開催を検討し、ニーズに応じたボランティア人材を育成していく。令和6年度より介護支援ボランティア養成講座の実施していく。
主要な施策(3)小地域福祉ネットワーク活動の推進					
小地域福祉ネットワーク活動の構築	社会福祉協議会	実施	住民の地域福祉活動への働きかけとなる座談会を実施 17集落	実施	座談会やマップづくりを中心にして地域のニーズをキャッチし、事業展開に活かせるようにしていく。
地域福祉の担い手づくり	健康対策課	完了	介護支援ボランティア養成講座を実施した。 参加者数 4人 修了証書交付者数 3人 フォローアップ受講者 8人 講座数 5回 今後は、実施主体を社会福祉協議会に移行し、後方支援を行う。	完了	社会福祉協議会が実施する講座の後方支援を行い引き続きボランティアを養成することで、各種介護予防事業で活躍する場をつくり、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりを行っていく。
主要な施策(4)福祉活動への支援					
団体間の交流・連携の促進	社会福祉協議会	検討	団体間の交流・連携の促進はR5年度は表立った事業の形ではないが小規模保育所、身体障害者福祉協会、作業所みらいとの交流を行った。	実施	各団体間の交流や連携が促進できるような場の検討をしていく。
主要な施策(6)災害時の防災体制の充実					
災害ボランティアセンターの機能強化	社会福祉協議会	未実施	災害ボランティアセンターの整備はR5年度は未実施。	実施	災害ボランティア研修を開催し、まずは災害ボランティアについての理解を促進していく。
基本目標3 生き生きと暮らせる環境づくり					
主要な施策(2)福祉ボランティア活動の推進					
交流の場、居場所づくり	福祉課	検討	ひきこもり支援として対象者の交流、居場所づくりを行う「ひきこもりサポート事業」を令和6年度から実施するための準備を行った。	実施	委託事業として6年度に事業開始し、ひきこもり支援の施策として周知を図り定着させていく。
移動手段の確保	社会福祉協議会	検討	生活支援コーディネーターと連携して取り組んでいる「伯耆おたがいさまネット」で他の福祉課題とともに共助交通について体制づくりやニーズの高い地域でのモデル事業を行うことが可能かなどの検討を行った。	実施	当面、継続して検討していく。事業化は未定であるが令和6年度からモデル的に事業を実施する予定。

施策	内容	④所管	②R5年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	①-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	①-2各年度の実施見込み(予定)					備考	④数値目標及び目標達成状況													
					R4	R5	R6 (予定)	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R4	実績 R5	目標 R8									
主要な施策(1)総合的な相談体制の充実																								
具体的な施策																								
総合的な 相談体制の 充実	分野別相談窓口 の強化	◆各分野で高度化、多様化する福祉相談に的確に対応するため、必要な相談窓口を整備するとともに、各窓口で利用者の立場に寄り添える相談体制を推進します。  ◆様々な相談内容に対応できるよう各種研修への参加等により職員のスキルアップを図り、分野別相談窓口の強化を図ります。	福祉課	福祉に関する相談窓口として、法制度等に基づき生活困窮者、障がい者、児童、ひとり親などの相談に対応した。	必要に応じ課の相談機能を充実していく。R6年度にひきこもり支援の相談体制を構築予定。	実施	実施	実施	実施	実施														
			健康対策課	地域包括支援センターで3職種により専門的相談に対応した。 《相談件数》 ・介護保険、その他サービスに関すること 685件 ・権利擁護に関すること 3件 ・高齢者虐待に関すること 1件 ・認知症に関すること 140件 ・その他 58件 合計 887件	高齢者が住み慣れた場所で安心して暮らしていくために、介護だけでなく、福祉や医療、成年後見制度などさまざまな制度を組み合わせて、総合的に支援していく。	実施	実施	実施	実施	実施														
			社会福祉協議会	各種相談窓口を継続して設置した。 ・生活困窮自立支援事業 ・各種地域福祉事業 ・介護・障害サービス事業 これ以外の相談も受け付け、必要な相談先につないだ。	現在の相談窓口を引き続き設置するとともに、本会では対応できない相談は適切な支援機関につないでいく。	実施	実施	実施	実施	実施														
			福祉課	各分野の研修会等に参加し、専門知識や相談スキルの向上に取り組んだ。	引き続き研修に参加し相談スキルの向上に取り組む。	実施	実施	実施	実施	実施														
			健康対策課	南部箕蚊屋広域連合が行う各種研修に積極的に参加した。 ・地域包括支援センター職員研修会 初任者向け 1人 現任者向け 2人 リーダー向け 1人 介護予防ケアマネジメント 3人 総合相談対応向上研修 1人 ・認知症初期集中支援チーム員研修 1人	引き続き各種研修会に参加し、専門的知識や相談スキルの向上に取り組む。	実施	実施	実施	実施	実施														
			社会福祉協議会	相談援助技術向上のため各相談関係の研修会に参加した。	今後も研修会等に参加して職員のスキルアップに努める。	実施	実施	実施	実施	実施														
			福祉課	子ども家庭総合支援拠点など新たに設置した相談窓口を広報紙、ホームページ、チラシ等で周知した。	引き続き各種相談窓口の効果的な周知を行えるよう取り組む。	実施	実施	実施	実施	実施														
			健康対策課	広報ほうきに相談窓口に関する記事を掲載した。 4回(4・6・9・10・12・1・3月号)	継続して専門職が連携し、介護保険だけでなく様々な制度を活用し、高齢者を総合的に支援していることを周知していく。	実施	実施	実施	実施	実施														
			社会福祉協議会	相談窓口を広報紙、ホームページ、チラシ等で周知した。	引き続き相談窓口を周知していく。	実施	実施	実施	実施	実施														

施策	内容	④所管	②R5年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	①-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	①-2各年度の実施見込み(予定)					備考	④数値目標及び目標達成状況				
					R4	R5	R6 (予定)	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R4	実績 R5	目標 R8
相談窓口の連携	◆各分野で整備される様々な相談窓口間で円滑な連携を図り、複合的な地域生活課題に支援機関が連携して対応できる体制を構築していきます。	福祉課	相談窓口や関係する機関が円滑に連携できるよう以下の会議を開催した。 ・子ども家庭総合支援連絡会 子ども施策関係機関連携 毎月定例開催 ・支援分野が重なるケースでは関係各分野が弾力的に連携し支援を実施した。支援調整の打合せを緊密に行った。	円滑な連携が保てるよう手法を見直ししながら、継続し会議開催していく。	実施	実施	実施	実施	実施		相談機関ネットワーク会議の開催回数	未実施	年1回	年0回	年2回
		健康対策課	【地域ケア会議】 分野横断する課題の庁内や関係機関との連携体制を確立し、個別ケースの検討を通して、利用者支援と同時に、介護支援専門員の実践力も高めながら、地域ケア会議を機能させた。 実施回数 6回 検討ケース 6件  【地域ケア推進会議】 個別課題の検討・抽出を行い、町村単位で協議・検討し政策形成につなげる場を設けた。 実施回数 1回	町内医療機関を含む関係機関との連携を深め、個別ケースの検討を通して、利用者支援と同時に介護支援専門員の実践力も高めながら、地域ケア会議を機能させていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
	地域における総合相談・支援体制の拡充	◆地域における相談体制の充実を図るため、身近な相談相手である民生委員・児童委員の活動を支援します。	福祉課	民生児童委員の相談活動を支援するため助成を行った。	継続して助成を行い活動支援を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
主要な施策(2)情報発信・情報共有の充実															
具体的な施策															
情報発信・情報共有の充実	わかりやすい福祉情報の提供	福祉課	・子育て関係行政サービスを紹介するパンフレットなどを作成し、窓口を設置した。 ・新たな制度や変更点について町報、ホームページを活用し手周知を行った。	引き続きわかりやすい福祉情報の提供に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施		福祉サービスに関する情報の入手状況「十分できている」、「まあまあできている」と回答した割合	20%	次回アンケートでの把握内	次回アンケートでの把握内	増加
		健康対策課	高齢者のための各種福祉サービス一覧を作成したものを窓口置き、必要に応じて渡した。またホームページに掲載し、いつでも閲覧及びダウンロードできるようにした。	高齢者に関する介護保険に関するサービス給付以外の福祉サービスについて随時見直し、一覧表にして提供する。	実施	実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	サービス利用促進につながるよう福祉情報を広報紙、ホームページ、チラシ、ふくしの集い等で住民に周知した。	引き続き、様々な媒体や機会を通じて福祉情報の提供に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
	企画課	広報紙、区長便配布チラシ、テレビ番組、文字放送、ホームページを中心に、情報を伝える手段を検討した。	引き続き情報伝達ツールを検討する。	実施	実施	実施	実施	実施							
情報手段の効果的な活用	◆支援を必要とする人が、必要ときに、必要とする福祉情報を得ることができるよう、広報誌やホームページ等を活用し情報提供に努めます。  ◆SNS等、利用しやすいツールの活用を検討していきます。	社会福祉協議会	生活困窮自立相談事業においてSNSを活用した相談対応を行った。	引き続き効果的な活用に努める。	実施	実施	実施	実施	実施						

施策	内容	④所管	②R5年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	①-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	①-2各年度の実施見込み(予定)					備考	④数値目標及び目標達成状況				
					R4	R5	R6 (予定)	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R4	実績 R5	目標 R8
身近なところで の情報共有の充 実	◆民生委員・児童委員等への情報提供を強化し、地域での情報提供・共有体制の強化を図ります。 ◆地域へのアウトリーチと連携による情報収集・提供体制を強化します。	福祉課	民生委員・児童委員が、住民の多様な相談に的確にアドバイスができるよう、研修会や情報提供等を行った。	引き続き研修会や情報提供等を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	地域へのアウトリーチと連携による提供体制強化として以下の取り組みを行った。 ・地域座談会はコロナ禍により中止となった。 ・愛の輪運動推進会議を6地区で開催し、将来を見据えた地域づくりに向けて意見交換を行った。 ・各種事業及び団体事務の事業を通じてニーズの把握に努めた。	引き続き様々な事業や機会を活用して、ニーズと課題を把握できるように努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
主要な施策(3)福祉サービスの充実															
具体的な施策															
福祉サービスの充実	インフォーマル(制度外)サービスの充実 ◆民生委員・児童委員に適切な情報提供を行い、福祉サービスの情報の周知を図ります。 ◆配食サービス等による見守り・訪問活動等を継続します。 ◆地域住民や地域組織による自主的な活動が実現するよう支援します。	福祉課	民生委員・児童委員が、住民の多様な相談に的確にアドバイスができるよう、研修会や情報提供等を行った。	引き続き研修会や情報提供等を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	配食サービス事業を実施し、定期的な見守り活動や日々の生活状況の把握に努めた。 年181回、3007食	引き続き見守りや安否確認が必要なケースについて、配食サービスの提供を実施をしていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	友愛訪問事業を実施し、定期的な見守り活動や日々の生活状況の把握に努めた。 対象者138人	引き続き見守りや安否確認が必要なケースについて友愛訪問を実施をしていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		健康対策課	日常生活支援を行い助け合う住民主体の仕組みを構築する推進役として、生活支援コーディネーターを配置し、地域での取り組みを行った。	引き続き生活支援コーディネーターの地域での取り組みを推進していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
利用者ニーズに応じたサービスづくり	◆利用者ニーズに応じてサービスの開設、見直しを検討していきます。 ◆マネジメント機能を強化し、一人ひとりに応じたサービス提供を推進します。	福祉課	地域で子育ての助け合いを行う仕組みとしてファミリーサポート事業を新設した。 ・子ども家庭総合支援拠点運営事業 設置形態 小規模A型 配置人員2人 ・養育支援訪問事業 対象 19ケース 訪問回数 直営85回 委託262回 ・子育て世帯訪問支援事業 伯耆町社協に委託 対象 1ケース 訪問回数9回 ・ファミリーサポート事業 登録会員数39人 延べ依頼件数42件	引き続きニーズに応じたサービスの開設、見直しを検討していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	独居世帯や高齢者世帯などの本人以外の世帯員からの支援が十分ではない方のため、届いた書類の内容理解や書類記載を訪問し支援する「読み書きサポート事業」を実施した。 対象者3名 11回	既存事業や公的サービスで対応できないニーズや課題に対して、随時サービスの開設を検討していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	各分野でケース検討会議等を行い、総合的なマネジメント力の向上を図った。また、各種相談業務では個別ケースに応じて支援機関等とも連携して各ニーズに合うよう調整を図った。	継続してマネジメント力が強化できる体制を充実に努め、ニーズに応えられるよう努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施						

施策	内容	④所管	②R5年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) * 未実施・中止はその理由	①-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	①-2各年度の実施見込み(予定)					備考	④数値目標及び目標達成状況				
					R4	R5	R6 (予定)	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R4	実績 R5	目標 R8
介護・福祉・生活支援サービスの充実と質の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆個別計画に基づき、関係機関と連携してサービスの提供体制の充実に取り組みます。</li> <li>◆適切なサービス提供が行われるように事業所の指導や苦情解決等に取り組みます。</li> <li>◆サービスの質の向上を図るため、人材の育成に努めます。</li> </ul>	健康対策課	南部箕蚊屋広域連合の居宅介護支援事業所のケアマネジメント業務を推進するため事例を通したケアマネジメント支援会議を開催した。 実施回数 3回	居宅介護支援事業所のケアマネジメント業務の推進とケアマネジメント技術の向上を目的に、事例を通して視点の確認、知識の共有を図るための支援会議を実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		福祉課	福祉サービスの充実のため、所管分野のサービスの量、質の確保のため施設、事業所への監査、指導、協議を行った。	引き続き関係事業所に対し協議、指導、監査等を行い、サービスの質が確保できるよう努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施		町の福祉施策に対する満足度「満足している」、「ある程度満足している」と回答した割合	45%	次回アンケートでの把握内容	次回アンケートでの把握内容	増加
		健康対策課	介護、生活支援サービスの充実のため、所管分野のサービスの量、質の確保のため施設、事業所への監査、指導、協議を行った。	引き続き関係事業所に対し協議、指導、監査等を行い、サービスの質が確保できるよう努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	苦情処理解決第三者委員会を設置し、第三者の意見も反映させながら苦情等に対して適切に対応した。 介護サービスにおいて、運営指導を受けて指摘のあった内容について取り組んだ。	苦情処理解決第三者委員会、定期的な監査・指導によって適切なサービスの質の確保に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
<p>主要な施策(4)権利擁護の推進</p> <p>具体的な施策</p>															
権利擁護の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆関係機関と連携し、制度の普及啓発を図り、制度の利用につなげます。</li> <li>◆必要に応じて、成年後見町長申し立てや成年後見人報酬助成を行います。</li> <li>◆成年後見制度の利用促進のため、専門職による専門的助言等の確保や広報・相談支援等の中核的な機能を担う機関を設置します。</li> </ul>	福祉課	制度の普及啓発のため法人後見支援事業を県西部9市町村共同委託の形で実施した。 委託先：(一社)権利擁護ネットワークほうき 共同委託総額：300,000円 うち伯耆町分：13,968円	継続して事業に取り組み、法人後見制度の浸透を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施		成年後見制度の認知度「制度内容を含め知っている」と回答した割合	27.9%	次回アンケートでの把握内容	次回アンケートでの把握内容	増加
		福祉課	障がいにより市町村長の後見開始の審判等の請求を要する者への支援のため「成年後見制度利用支援事業」を実施した。 利用実績 0件	申請が出た場合対応できるよう事業を維持していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		健康対策課	身寄りがいない、経済的虐待を受けているなど特に必要があると認めるときは、市町村長が後見開始の審判等の請求を行うもの。 利用実績 0件	継続して、支援の必要な高齢者の利用促進を図り、高齢者の権利擁護を進めていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		健康対策課	中核機関としての役割を果たすため、一般社団法人権利擁護ネットワークほうきに業務の一部を委託し、高齢者の成年後見制度の活用を推進した。 ネットワークほうきでの相談受付 92件	成年後見制度等に係る専門的な法的支援が必要な相談等について、弁護士、司法書士、税理士、社会福祉士、行政書士、精神保健福祉士などで構成する「一般社団法人権利擁護ネットワークほうき」に委託し、制度利用の推進をしていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	認知症高齢者等のうち判断能力が不十分な方を対象に、福祉サービスの利用援助や金銭管理サービスを行う「福祉サービス利用援助事業」を実施した。 利用者13人	引き続き取り組みを推進し、支援を必要とする人の制度利用に繋げていく。	実施	実施	実施	実施	実施						

施策	内容	①所管	②R5年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	③-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	④-2各年度の実施見込み(予定)					備考	④数値目標及び目標達成状況				
					R4	R5	R6 (予定)	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R4	実績 R5	目標 R8
虐待の未然防止と早期発見、早期対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆高齢者、障がい者や子どもに対する虐待の防止に向け、住民への意識啓発を行います。</li> <li>◆関係機関等との連携や情報共有を図りながら、早期発見・早期対応して事件・事故の未然防止に努めます。</li> </ul>	福祉課	関係機関との情報共有を図り、支援につなげることきた。 ・要保護児童ケース 10件(R5年度末) ・要対協個別支援会議開催 48回	関係機関と連携を図り、児童虐待防止対策の充実と支援体制の強化を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		福祉課	・障害者虐待の防止、擁護者に対する支援を虐待防止センターにて実施した。 相談対応件数 0件	引き続き障害者虐待の防止啓発や、関係機関との連携を充実させ、支援体制の充実を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		健康対策課	・町ホームページで高齢者虐待の考え方や、地域で高齢者虐待を疑うケースがある場合の相談先などを周知した。また、南部箕蚊屋広域連合の広報誌「やまびこ」でも周知した。 ・関係機関等との連携や情報共有を図り、高齢者虐待の早期発見・早期対応に努めた。 相談対応件数 4件	・継続して、高齢者虐待についての考え方や、気づいた時の対応方法などを周知していく。 ・継続して、関係機関と連携し、早期発見・早期対応と、虐待につながらないように家族支援を行っている。	実施	実施	実施	実施	実施						
人権教育・男女共同参画の取り組み推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆お互いの人権を尊重することの重要性を正しく認識し、他者の人権を十分尊重した行動が取れるように人権教育・人権啓発を推進します。</li> <li>◆家庭生活や地域での社会活動に男女が対等に参画することができるよう取り組みを推進します。</li> <li>◆心のバリアフリーにつながる取り組みの推進により地域住民が支え合う理念の周知を図ります。</li> </ul>	教育委員会	人権を尊重する住民意識の醸成するため、ひまわりセミナー、伯耆町人権フォーラム、人権啓発標語等を通じて各種の人権課題の啓発を行った。	引き続き、各事業を通じて効果的な啓発に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		総務課	男女平等の住民意識の醸成のため、男女共同参画推進計画に基づき、意識啓発に関する広報を実施した。(広報ほうき、CATV、防災無線)	引き続き広報を実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		関係各課	関係各課の計画や所管事業において住民同士が支え合いながら暮らす地域づくりを推進を基本とした取り組みを推進した。	引き続き所管事業を通じて支え合いの理念周知の取り組みを行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
<p>主要な施策(5)配慮が必要な人への支援</p> <p>具体的な施策</p>															
地域社会からの孤立の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆引きこもり、障がい、ひとり暮らし、ひとり親等についてそれぞれの相談窓口の体制を強化し、当事者意識に立ちながら、対象者が地域社会との繋がりが保てるよう支援していきます。</li> <li>◆友愛訪問等のアウトリーチを通して、配慮が必要な人を早期に発見し、必要な支援策に結び付けます。</li> <li>◆サロン活動や支え愛マップづくりを通じて、地域づくりを推進していきます。</li> </ul>	福祉課	・福祉に関する相談窓口として、法制度等に基づき生活困窮者、障がい者、児童、ひとり親などの相談に対応した。 ・ひきこもり支援や孤独・孤立対策など県が県下で整備を進める連携体制構築の会議に参加し、体制整備に向けた意見交換を行った。 ・R6年度開始予定のひきこもり支援を行う「ひきこもりサポート事業」の委託体制について協議を行った。	必要に応じ課の相談機能を充実していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	友愛訪問事業を実施して地域で支援が必要な人を把握し、支援のため関係機関に繋いだ。対象者138名	引き続き活動を推進するとともに、様々なアウトリーチ手法を検討し、配慮が必要な人の早期発見に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		福祉課	福祉委員による見守り活動により活動地域で支援が必要な人を把握し、支援のため関係機関に繋いだ。	引き続き活動を推進するとともに、様々なアウトリーチ手法を検討し、配慮が必要な人の早期発見に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施						



基本目標2 支え合いの地域づくり

施策	内容	①所管	②R5年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	③1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	④-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑤数値目標及び目標達成状況							
					R4	R5	R6 (予定)	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定時	実績 R4	実績 R5	目標 R8			
主要な施策(1)地域福祉意識の高揚																		
具体的な施策																		
地域福祉意識の高揚	福祉教育・福祉体験活動の推進	福祉課	社会福祉協議会が実施するボランティア推進事業に対し補助金を交付した。 <補助率>10/10 <支出済額>672千円	福祉教育活動の推進するため、引き続き事業に要する補助を実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施									
		社会福祉協議会	夏休みふくしボランティア体験交流を実施した。	従来通り、夏休みを中心に学校の要請するメニューに沿って事業を実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施									
		社会福祉協議会	・福祉教育や福祉ボランティア体験イベントとして車いす・高齢者疑似体験を町内全小中学校で実施した。 ・地域包括支援センターとの共同で認知症サポーター養成講座を実施した。	従来通り夏休みを中心の事業に加え、令和6年度より教育委員会を通じた中学生ボランティア「ゆめねっと」とも連携し事業を実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施									
		社会福祉協議会	福祉啓発を目的としたイベントを行った。 ふくしの集い 令和5年9月16日 eスポーツ講演・体験	継続して福祉啓発のイベント開催に取り組んでいく。	実施	実施	実施	実施	実施									
地域福祉についての意識啓発の推進		福祉課	・障がいの特性理解や理解意識の啓発を目的とした「理解促進研修・啓発事業」を県西部9市町村共同委託の形で実施していたが、令和5年度はこれまでの委託先である「あしーど」の体制が整わなかったため未実施。次年度以降の再開に向けて調整中。 ・鳥取県西部障害者自立支援協議会で「障害当事者のお話を聴く会」を開催し、参加者の当事者視点の意見を聴取して今後の協議会活動に反映するようにした。	継続して鳥取県西部障害者自立支援協議会で西部圏域の障害福祉に関する研修事業を企画し障害や制度理解を進めていく。	実施	実施	実施	実施	実施	住民相互の協力関係についての認識 住民相互の自主的な協力関係が「必要だと思う」と回答した割合	66.8%	次回アンケートでの把握内容	次回アンケートでの把握内容	増加				
		健康対策課	認知症の基礎知識や予防方法、町が実施している事業、脳を活性化させる脳トレ等を掲載した「オレンジガイド」を毎月発行、広報ほうきに差し込みし発行した。 発行回数 12回 発行数 3,900枚/回 R4年度オレンジガイド12回分を冊子にまとめ、町内各所へ常設設置。設置場所:生活相談室、分庁総合窓口課、各図書館、各公民館、文化センター、社協の窓口、ゆうあいパル、みぞくちテラス、ポッポみらい	引き続き、認知症に関する正しい知識の普及啓発を図り、自分事として認知症をとらえることにより、認知症になっても安心して暮らしていることができる地域づくりを目指す。	実施	実施	実施	実施	実施									
		企画課	担当課・関係者からの要請によりCATVで番組やニュースを制作、情報発信を行った。	引き続き、番組制作を通じ地域福祉の情報発信に取り組んでいく。	実施	実施	実施	実施	実施									
主要な施策(2)福祉ボランティア活動の推進																		
具体的な施策																		
	ボランティアセンターの充実とネットワークづくり	社会福祉協議会	ボランティアセンターとしてボランティア活動の支援に取り組んだ。 ・認知症予防教室ボランティア 参加者221人 ・ゆるっとボランティア 35回実施、参加者62人	既存の事業を継続しながら、より幅広いボランティアの依頼や派遣を調整できるように機能の充実を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施	伯耆町社会福祉協議会ボランティアセンターに登録している人数	44人	49人	52人	50人				

基本目標2 支え合いの地域づくり

施策	内容	①所管	②R5年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	③-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	④-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑤数値目標及び目標達成状況				
					R4	R5	R6 (予定)	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R4	実績 R5	目標 R8
福祉ボランティア活動の推進	ボランティア活動の周知・啓発	企画課	文字放送や区長便等での情報提供や広報誌掲載・番組制作でボランティア活動の報告機会を設けた。	引き続き情報提供や活動報告の場を設け、必要に応じて活用ができる状態を整備する。	実施	実施	実施	実施	実施	社協見通しに準拠	ボランティアや地域の活動への参加意向「現在参加している」、「今後参加したい」と回答した割合	48.9%	次回アンケートでの把握内容	次回アンケートでの把握内容	増加
		社会福祉協議会	ボランティア情報の提供、収集を行った。 ・広報紙でゆーっとボランティアの紹介と募集 ・ボランティアセンターだより 年1回発行(2月)	ボランティアセンターだより、広報紙を活用して住民にボランティア情報を周知していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	ボランティア活動人材の発掘・育成に取り組んだ。 ・ゆーっとボランティア ・入門講座研修会実施(年1回)	ゆーっとボランティアを継続実施し、ボランティアの裾野を広げる。ボランティア人材の裾野が広がるようにボランティア入門講座の実施、	実施	実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	広報紙でゆーっとボランティアの参加者を募集した。	ボランティアセンター機能を強化しつつ、幅広いボランティア参加を募れるよう体制を整備していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
	継続的な取り組みへの支援	福祉課	社会福祉協議会が実施するボランティア推進事業に対し補助金を交付した。 <補助率>10/10 <支出済額>672千円	引き続き社会福祉協議会へ補助金を交付し、ボランティアセンターの機能強化を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施	社協見通しに準拠					
		社会福祉協議会	ボランティア養成講座実施。(年1回)	分野別ボランティア養成講座の開催を検討し、ニーズに応じたボランティア人材を育成していく。令和6年度より介護支援ボランティア養成講座の実施していく。	未実施	実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	ボランティア関連研修へ参加した。	研修会や養成講座に参加しコーディネート機能強化に努めていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
主要な施策(3)小地域福祉ネットワーク活動の推進															
具体的な施策															
支え合い活動の推進	◆地域の絆づくりにつながる住民参加の事業の開催を支援します。 ◆自治会、福祉委員と協働し、地域における福祉活動への理解と推進に取り組みます。	福祉課	高齢者ができる限り自立し、生きがいをもち、安心して暮らせる社会づくりを推進するため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブへ運営費を助成した。 連合会 694千円 単位クラブ 2,235千円(35クラブ)	継続して地域住民が参加できる事業が推進できるように助成していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	身近な地域で支え合いの輪を広げ、安心して暮らせる地域づくりの推進役である福祉委員の設置など以下の取り組みを行った。 ①福祉委員を通じた小地域福祉活動の推進 福祉委員84集落、134名 ②福祉委員を対象にした研修会の実施 ③サロン活動 ・ふれあいサロン活動 ・老人クラブによるサロン、いきいき百歳体操、eスポーツ体験など集いの場	福祉委員活動の活性化を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						

基本目標2 支え合いの地域づくり

施策	内容	①所管	②R5年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	③1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	④-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑤数値目標及び目標達成状況				
					R4	R5	R6 (予定)	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R4	実績 R5	目標 R8
小地域福祉ネットワーク活動の推進	小地域福祉ネットワーク活動の構築	企画課	集落の自治活動の振興を支援するため地域自治活動交付金を交付した。 89集落 16,204,822円	納税組合集金手数料の年次の減額に伴い、R5年度より基礎算定額を4,000円から5,000円に拡充。引き続き集落の自治活動振興の支援に取り組んでいく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		福祉課	地域における福祉活動の推進のため助成を行った。 ・民生児童委員協議会運営補助金 ＜交付額＞3,129千円 ・柏耆町社会福祉協議会補助金 ＜対象事業＞愛の輪運動事業 ＜補助率＞5/10 ＜交付額＞519千円	小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、引き続き事業に要する補助を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	住民の地域福祉活動への働きかけとなる座談会を実施 17集落	座談会やマップづくりを中心にして地域のニーズをキャッチし、事業展開に活かせるようにしていく。	未実施	実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	災害時に避難行動に支援が必要となる「要援護者」や、その支援を行う「支援者」、避難所やその経路、地域の危険箇所等の情報を記載し、避難や支援を迅速行うための手段として活用する地図を各地域の自治会とともに作成した。 支え愛マップづくり 4集落	マップづくりを進めていく中で、各地域の課題についても集約、検討し、関係機関に繋ぐなど必要に応じた対応をしていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		健康対策課	「生活支援コーディネーター」と「協議体」を設置し、地域における支え合い活動を推進した。	引き続き生活支援コーディネーターの地域での支え合い活動の取り組みを推進していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
	地域福祉の担い手づくり	健康対策課	町主催による、介護支援ボランティア養成講座は終了。令和5年度以降、実施主体を社会福祉協議会に移行し、後方支援を行う。	社会福祉協議会が実施する講座の後方支援を行い引き続きボランティアを養成することで、各種介護予防事業で活躍する場をつくり、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりを行っていく。	実施	完了	完了	完了	完了	実施主体を社会福祉協議会に移行	介護支援ボランティア養成講座の受講者数	6人	3人	隔年	20人
		社会福祉協議会	福祉委員制度によって、地域福祉活動への住民参加を促した。	引き続き福祉委員制度等の地域福祉活動が活性化するように、住民の活動参加を促していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	地域福祉活動を担う人材の育成を以下のとおり取り組んだ。 ・愛の輪運動推進会議兼福祉委員研修会 小地域単位6校区で実施	引き続き人材育成に繋がる講座や研修会を企画、推進していく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		主要な施策(4)福祉活動への支援													
		具体的な施策													
福祉活動への支援	各種福祉活動団体への支援	福祉課	地域の自主的な福祉活動団体に対して助成を行った。 老人クラブ(単位、連合会)、敬老会、身体障害者福祉協会、日赤奉仕団	引き続き各種福祉団体の活動が活性化するように助成を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		健康対策課	オレンジカフェを運営する団体または個人に対し、補助金を交付し、認知症になっても住み慣れた地域で、安心して暮らしている生活が継続できるようにするとともに、認知症の人の家族負担を軽減した。 補助金交付対象 1団体 補助金交付額 62,000円	オレンジカフェ開催団体を、現在の1団体から2団体に増やすことで、事業内容の強化や交流機会の増加を目指す。	実施	実施	実施	実施	実施						

基本目標2 支え合いの地域づくり

施策	内容	④所管	②R5年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	①-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	①-2各年度の実施見込み(予定)					備考	④数値目標及び目標達成状況				
					R4	R5	R6 (予定)	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R4	実績 R5	目標 R8
		社会福祉協議会	年間を通じて各種団体の研修、学習活動を企画、実施した。 老人クラブ、赤十字奉仕団、身体障害者福祉協会	引き続き各種団体の研修、学習活動を企画して団体活動の活性化を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	①各種団体の事務局を担った。 身体障害者福祉協会、遺族会、老人クラブ、赤十字奉仕団 ②自治会や福祉団体の活動資金を助成した。 福祉委員活動助成、サロン助成	継続して事務局を担い、各種団体を維持し、その活動促進を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
	社会福祉協議会	◆一体的な地域福祉活動が展開できるように、各種団体間の交流や連携の促進を図ります。 ◆連絡会や研修会を通じて、活動に関する情報共有や連携を図ります。	団体間の交流・連携の促進はR5年度は表立った事業の形ではないが小規模保育所、身体障害者福祉協会、作業所みらいとの交流を行った。	各団体間の交流や連携が促進できるような場の検討をしていく。	未実施	検討	実施	実施	実施						
	企画課	◆福祉活動への理解・認識を深めるため、福祉活動団体に関する情報の提供を行います。	文字放送や区長便などで福祉活動担当課が周知したい福祉情報を提供できるような場を設けた。	引き続き情報提供の場を設け、必要に応じて活用ができる状態を作っておく。	実施	実施	実施	実施	実施						
社会福祉協議会	◆地域福祉の担い手や専門機関の活動を支援するため、必要な情報の収集を行うとともに、積極的な情報提供に取り組みます。	愛の輪推進会議を通して地域の福祉課題について地福祉委員、民生委員へ情報提供、意見交換、情報収集を実施した。	地域福祉活動の先進的な事例や専門的内容、制度情報等の情報を積極的に収集し、その担い手に情報提供していく。	実施	実施	実施	実施	実施							
主要な施策(5) 社会福祉協議会との連携強化															
具体的な施策															
社会福祉協議会	社会福祉協議会へ活動支援と連携強化	◆地域福祉の推進に向けて、社会福祉協議会との連携強化及び活動支援を行います。	・地域福祉活動の推進を図るため補助を行った。 伯耆町社会福祉協議会補助金64,390千円 <対象事業>事務局運営、老人福祉センター運営、愛の輪運動、日常生活用具貸与、ボランティア推進、さわやか福祉、溝口健康増進 ・地域福祉推進プランの前年度取組み状況を取りまとめと今後の取組みの推進について意見交換を行った。	引き続き伯耆町社会福祉協議会の活動推進のための補助を行うとともに、活動の連携の強化を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施						
	住民と社会福祉協議会の協働による福祉的課題の検討	◆住民と社会福祉協議会が事業を通して地域の福祉的課題を共有し、どのように解決していくのか一緒に考えて考える場を設けます。	住民と地域の福祉的課題を考える場として、以下の取り組みを行い、地域の課題の共有を図った。 ①座談会 ②福祉委員、サロン ③支え愛マップづくり	引き続き各種事業を通じ把握した地域課題について関係機関との課題共有や解決策の検討に取り組んでいく。	実施	実施	実施	実施	実施						

基本目標2 支え合いの地域づくり

施策	内容	④所管	②R5年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	①-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	①-2各年度の実施見込み(予定)					備考	④数値目標及び目標達成状況				
					R4	R5	R6 (予定)	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R4	実績 R5	目標 R8
この連携強化	社会福祉協議会の基盤強化	社会福祉協議会	地域福祉推進の中核を担う組織として、関係機関とのネットワークを形成し、地域福祉の推進に向けた体制の充実や、スタッフの専門性を高めるよう組織体制充実の取り組みを行った。	研修参加や資格取得を積極的に図り、スタッフのスキルアップや組織の基盤強化を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施	社会福祉協議会の会員数	一般会員2,477 世帯特別会員25 企業・団体賛助会員4人	一般会員2,505 世帯特別会員29 企業・団体賛助会員4人	一般会員2,459 世帯特別会員30 企業・団体賛助会員5人	増加	
		社会福祉協議会	安定的な法人経営のため、以下の取り組みを通じて財政基盤強化を図った。 ①社協会員加入促進 ②共同募金事業 ③各種補助金・助成金の積極的活用 ④健康増進事業	継続して会員加入促進と収益確保に取り組んでいく。	実施	実施	実施	実施	実施						
主要な施策(6)災害時の防災体制の充実															
災害時の防災体制の充実	具体的な施策														
	災害時要援護者台帳制度の周知、推進	◆災害時要援護者台帳制度について、区長協議会等で周知します。 ◆整備した災害時要援護者台帳は関係行政機関、自治会等で情報共有を図ります。	総務課	災害時要援護者台帳制度の周知、整備として、各区長へ登録済みの方の継続意思確認、新規登録者の取りまとめを依頼し、適宜更新を行った。	引き続き台帳の更新を適宜行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施	災害時要援護者台帳登録者数	409人	300人	285人	増加
			総務課	災害時要援護者台帳の情報共有として登録者がいる集落へ更新した台帳を配布した。	引き続き台帳の更新を適宜行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
	避難所等の整備	◆要配慮者が安心・安全に避難所生活を送るための福祉避難所を指定します。 ◆避難の実施に必要な施設・設備の整備に努めます。 ◆町営住宅にり災時等対応居室を確保します。	総務課	現在、福祉避難所は岸本保健福祉センター、岸本老人福祉センター、溝口福祉センター、岸本デイサービスセンターの4か所を指定。	必要に応じて住民へ福祉避難所について周知を図っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			総務課	福祉に関する相談窓口として、法制度等に基づき生活困窮者、障がい者、児童、ひとり親などの相談に対応した。	引き続き施設及び設備の必要な整備を行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			教育委員会	り災時対応住宅を2戸1棟を維持管理した。	引き続き必要数を維持していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
	自主防災組織への支援	◆自主防災活動で必要となる物品購入や設備更新に対して支援を行います。 ◆自主防災組織に対して防災に関する情報提供や指導を行います。	総務課	自主防災組織で必要な物品購入や設備の修繕に対し、消防施設整備補助金を交付した。 申請件数 21件 交付金額 4,079,000円	引き続き自主防災組織に必要な補助金を交付していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			総務課	防災情報や指導の取組みを行った。 ・依頼集落、機関に対し防災勉強会の講師を派遣した。1件 ・町防災無線を通じ、適宜防災情報を提供した。	防災に関する情報提供や指導について適宜行っていく。	実施	実施	実施	実施	実施					
	防災訓練の実施	◆災害時に住民が落ち着いた避難行動をとれるよう、避難訓練等の防災訓練を実施します。	総務課	伯耆町防災の日に合わせて全町対象に避難訓練を企画したが、荒天のため中止となった。(区長協議会主催)	引き続き避難訓練を年1回程度実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
			社会福祉協議会	災害時に避難行動に支援が必要となる「要援護者」や、その支援を行う「支援者」、避難所やその経路、地域の危険箇所等の情報を記載し、避難や支援を迅速行うための手段として活用する地図を各地域の自治会とともに作成した。 支え合いマップづくり R5 4集落	マップづくりを進めていく中で、防災訓練や避難訓練についても検討を行い、必要に応じて実施していく。	実施	実施	実施	実施	実施					
災害ボランティアセンターの機能強化	◆平時の地域組織との繋がりや連携を図りながら、実際の災害を想定した災害ボランティアセンターの整備を図ります。 ◆災害支援に取り組むNPO等や全国各地の支援団体とのつながりを活かした被災者支援ができるよう、広域災害支援ネットワークとの連携を進めます。	社会福祉協議会	災害ボランティアセンターの整備はR5年度は未実施。	災害ボランティア研修を開催し、まずは災害ボランティアについての理解を促進していく。	未実施	未実施	実施	実施	実施						
		社会福祉協議会	鳥取県内社会福祉協議会災害時の相互応援協定を締結した。	県社協を中心に県内社協で応援協定を結び、広域災害支援の連携体制を充実させていく。	実施	実施	実施	実施	実施						



施策	内容	①所管	②R5年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	③-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	④-2各年度の実施見込み(予定)					備考	⑤数値目標及び目標達成状況					
					R4	R5	R6 (予定)	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R4	実績 R5	目標 R8	
交流の機会づくり	<p>◆障がい者の社会参加を進めるため、障がい者と学校や地域との交流活動を促進します。</p> <p>◆地域や各種団体と連携しながら、世代間を超えた交流とふれあいの場、地域住民が積極的に学びあう機会を提供します。</p> <p>◆地域とのつながりが希薄な人や地域活動に関わる機会が少ない人が参加しやすい交流の機会を設けます。</p>	福祉課	障害者社会参加推進活動拠点運営により「ポッポみらい」の活動費を助成し障害者と学校や地域との交流活動を促進した。	引き続き拠点活動費を助成し、交流活動を促進していく。	実施	実施	実施	実施	実施							
		社会福祉協議会	イベント「ふくしの集い」を開催し交流の機会づくりに努めた。 開催日 令和5年9月16日(土) 場所 鬼の館 eスポーツ講演・体験	継続して企画、開催し、地域や福祉団体のふれあいの機会を提供する。	実施	実施	実施	実施	実施							
		教育委員会	各公民館、文化センター、図書館で様々な世代への学習機会の提供を図る講座・事業等を実施し、交流の機会を設けた。	各公民館等で地域住民が参加しやすい講座・事業等を継続して開催する。	実施	実施	実施	実施	実施							
主要な施策(2) 社会参加・生きがいづくりの推進																
具体的な施策																
社会参加・生きがいづくりの推進	シルバー人材センターへの加入促進	福祉課	◆シルバー人材センターの活動に対する支援を行い、高齢者の生きがいや健康及び地域福祉の推進を図ります。 ◆生きがいづくりと就労機会の拡大のため、シルバー人材センターの加入促進を図ります。	南部広域シルバー人材センターの活動を支援するため補助を行った。 補助金額 6,619,008円	南部広域シルバー人材センター活動を支援するため、引き続き補助を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施		南部広域シルバー人材センターに登録している人数	348人	339人	325人	400人
	生活支援体制の整備	健康対策課	◆地域における支え合い活動を推進することで、地域全体で高齢者・障がい者等の生活を支える体制づくりを推進します。	「生活支援コーディネーター」と「協議体」を設置し、地域における支え合い活動を推進することで、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを推進した。 生活支援コーディネーターの設置 2人 協議体の開催 2回 住民主体の通いの場の創出 2箇所 ・畑池(池田・森脇・畑池中央) ・リバータウン 広報ほうきへの啓発記事の掲載 3回(5・9・1月号)	引き続き、社協と協働しながら、地域における支えあい活動を推進する。	実施	実施	実施	実施	実施		生活支援コーディネーターが支援を行った住民主体の活動団体数	2件	2件	2件	10件
	生きがいづくりの支援	福祉課 教育委員会	◆障がい者の生きがいづくりを推進するため、就労支援体制等の充実を図ります。 ◆高齢者に生涯学習の場を提供することにより、健康で生きがいのある生活づくりを支援します。	障害福祉サービスの提供により就労支援を図った。 就労移行支援 2人 就労定着支援 1人 就労継続支援A型 16人 就労継続支援B型 61人	障がい者の社会参加を推進するため、引き続き就労移行及び就労継続の支援を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施						
			生涯学習提供の場として、各公民館で高齢者学級を開催。また、4館合同での研修会、健康対策課との共催で「健康づくりフォーラム」を開催した。	各公民館、4館合同での高齢者学級等を継続して開催する。	実施	実施	実施	実施	実施							

施策	内容	④所管	②R5年度の取り組み内容 (成果又は達成数値など) *未実施・中止はその理由	①-1今後の取り組みの方針 (未実施の場合はその理由、課題)	①-2各年度の実施見込み(予定)					備考	③数値目標及び目標達成状況						
					R4	R5	R6 (予定)	R7 (予定)	R8 (予定)		内容	策定 時	実績 R4	実績 R5	目標 R8		
主要な施策(3)外出しやすい環境の整備																	
具体的な施策																	
外出しやすい環境の整備	移動手段の確保	分庁総合窓口課	各種障害者手帳所持者及び介護認定を受けている者を対象に、『外出支援サービス』として、自宅から医療機関までの送迎を実施した。(登録制) 登録者数 121人 利用者数 延べ1,222人	引き続き事業を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施		外出支援サービス登録者数	104人	118人	121人	110人		
			・デマンドバスの利用ニーズに合わせた運行調整(バス停新設・移設やダイヤ調整)を実施した。 ・デマンドバスの利用方法を広報、CATVにて周知した。 利用者数 延べ20,558人(有償利用)	引き続き事業を実施する。	実施	実施	実施	実施	実施		デマンドバス利用者数	23,629人(R1)	18,967人	20,558人	20,000人		
		社会福祉協議会	生活支援コーディネーターと連携して取り組んでいる「伯耆おたがいさまネット」で他の福祉課題とともに共助交通について体制づくりやにニーズの高い地域でのモデル事業を行うことが可能ななどの検討を行った。	当面、継続して検討していく。事業化は未定であるが令和6年度からモデル的に事業を実施する予定。	検討	検討	実施	実施	実施								
	総務課	総合スポーツ公園広場の歩道改修を実施した。	引き続き必要な部分について検討していく。	実施	実施	実施	実施	実施									
	福祉課	・民間施設、店舗等のバリアフリー改修を支援するため、福祉のまちづくり推進事業を実施した。 助成件数 0件 ・上記事業により整備を行う建築主の募集を行った。 応募件数 0件	引き続き事業を継続し、バリアフリー環境を整えていく。	実施	実施	実施	実施	実施									